

研究しよう!その③

水



「水」の今と、これから

強い台風や干ばつが増えているのは、なぜ?

近年、強く激しい台風やゲリラ豪雨が発生する地域が増える一方で、長い間雨がふらない地域も増えています。地球の気温上昇が、台風の勢力を強めたり、乾燥を進めているのです。地球温暖化は「水」にも多くの影響をおよぼしています。

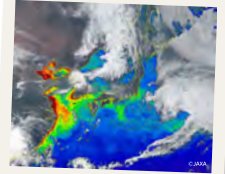
「ひまわり8号」がとらえた地球の姿



静止気象衛星
「ひまわり8号、9号」



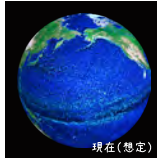
ひまわり8号が撮影した台風19号 (2019年10月11日)



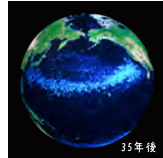
ひまわり8号のデータを使い、
海中の植物プランクトン量の
指標となる物質の濃度を
示した画像。
赤が最も高く富栄養化を示す。
(2014/6/21撮影)

日本近海はゴミのたまり場に!?

世界の海洋上のゴミ分布が現時点で均一であると想定すると、海流の影響によりゴミは少しずつ移動し、35年後には太平洋に“ゴミの帯”(白い部分)が広がる事態が予測されます。



現在(想定)



35年後

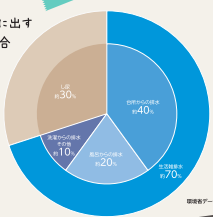
©NASAアークティックプログラム
アークティックセンター
協力: ISEA環境教育

貴重な水資源は何に汚染されている?

地球は「水の惑星」とも呼ばれますが、生活や産業に使える淡水はたったの0.01%程度。その水も生活排水によって汚染されています。また、地球の水のほとんどを占める海水ではマイクロプラスチック※の流出が広がっています。

※0.1mm以下の微小なプラスチックの破片。海に流出することで生物の命にも影響を与えています。

1人が1日に出す
汚れの割合



環境省「水質汚濁防止法」

- ・ 水環境・水資源を守るために、何ができるだろう?
- ・ 水環境・水資源の悪化を抑えるにはどうすればいいだろう?

三菱電機グループの取組みをみてみよう。
そして、「いつも環境を考える暮らし」を研究しましょう!

美しい水を守る!!

いつも環境を考える暮らし

皆さんはどちらの未来を実現したいですか？

明るい未来



きれいな海や川で水遊びができる!
おいしいお魚が食べられる!

暗い未来



海や川で遊べない...
お魚は食べられない...



明るい未来の実現を目指して、私たちはどのように暮らしを見直すべきか
下記の“環境に良い暮らし方”を見て研究しよう!

1



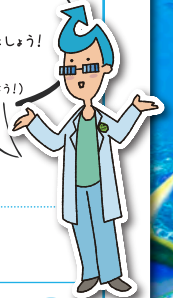
✓ コップ1杯の水で歯みがきができるかチャレンジする。

2



✓ 米のとぎ汁を植物にあげ育てる。

研究カードは持っていますか?
この中から環境に良い暮らし方をすべて見つけましょう!
(一つだけ環境に良くない暮らし方があるから注意しよう!)



3



✓ シャワーでなく湯船のお湯で体を洗い、お湯も大事にする。

4



✓ 食事の後は汚れを流さないようお皿を新聞紙でふく。

5



✓ 水と洗剤をたっぷり使って食器を洗う。